

議会だより



口石小学校入学式（4月8日）

◆ 目次 ◆

- 令和3年度一般会計・特別会計予算 …………… 2～4
- 令和2年度一般会計・特別会計 補正予算 …………… 5
- 意見書・2月臨時会・3月定例会 賛否表 …………… 6～7
- 一般質問 8人が町政を問う …………… 8～16
- 常任委員会報告 ……………17～18
- 新庁舎建設に関する調査特別委員会報告 …………… 19
- 議会日誌・編集後記 …………… 20

佐々町議会HP
QRコード



令和3年度一般会計当初予算

暮らしいちばん！住むならさざ

可決

総額60億4600万円の骨格予算

令和3年度予算編成の内容

令和3年度当初予算額は、骨格予算[※]として編成しており、60億4600万円となり、前年度当初予算と比較して、6億円(9.0%)の減額となりました。

主な事業として、庁舎建設事業は、令和4年度着工に向けての準備を進めます。し尿等前処理施設建設事業、佐々クリーンセンター長寿命化整備をはじめ、大新田排水機場の長寿命化対策を引き続き行います。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、子育て世帯への保育料軽減事業、学生応援給付金事業などに取組みます。

※選挙等の関係で、人件費等必要最小限度の経費を計上する予算

主な質疑

Q 佐々町のホームページについていろんな指摘があるが、改善する計画はあるのか。
A 今後は、もう少し情報をすぐに入手できるような工夫していかなければならぬと考えています。

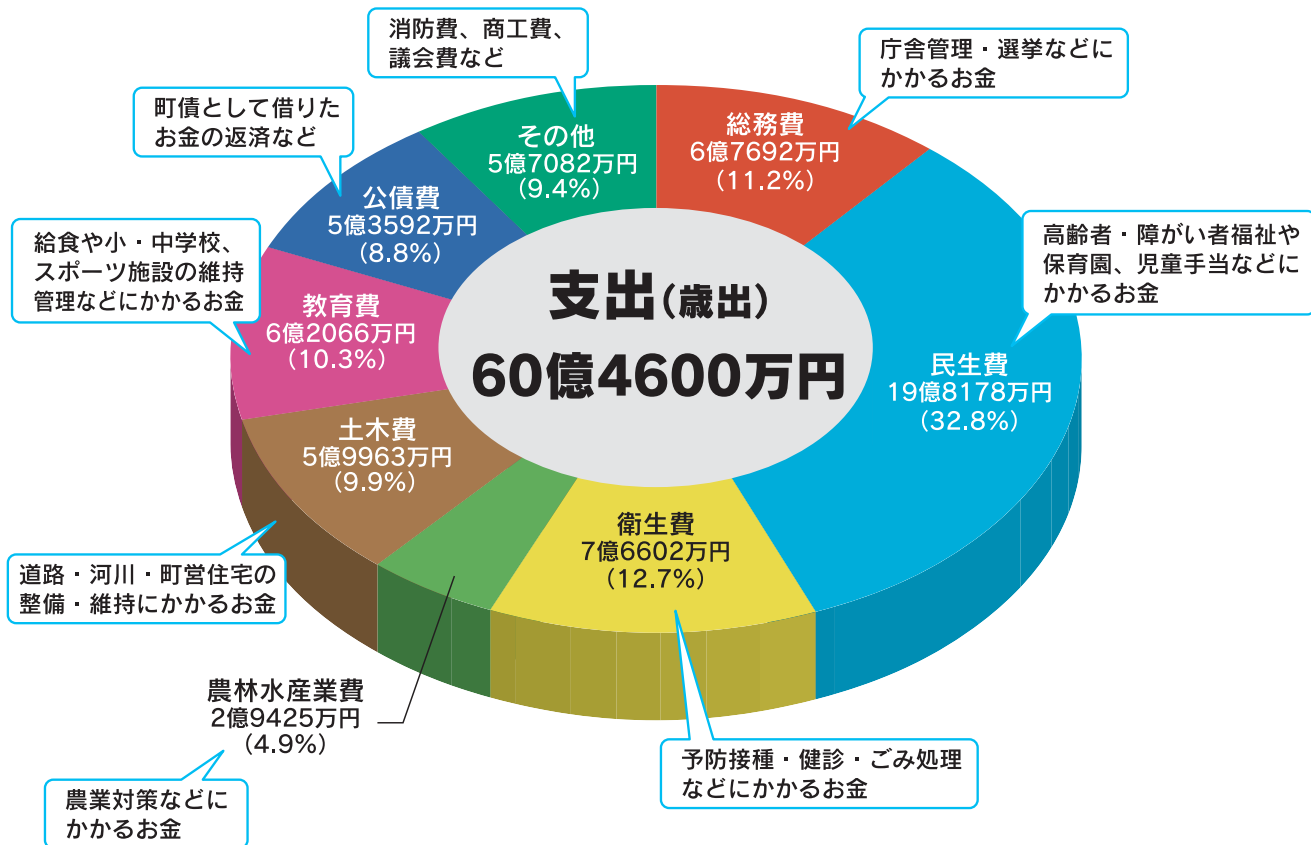
Q 防災無線が聞きづらいうといった苦情が多いが、機能的に改善できることがあるのか。
A 現段階では機能的な改善の予定はありませんが、各町内会からの要望に対しては、スピーカーの向きを変えるなどの対応をしています。
Q ふるさと納税の今後の取組みは。
A 継続して新しいふる

Q 松浦鉄道のホーム階段の手すりの要望が出ていたが、どうなっているのか。
A 年次的にやっていたことでしたが、町としてもお願いしなければならぬし、補助については、検討させていただきます。
Q 給付型奨学金の制度は、今後どうしていくのか。
A 羽ばたけ奨学金は、今回骨格予算ということが入っていませんが、新しい体制になり令和3年度中に検討して方向性を定めたいと思っています。
Q 骨格予算編成時の考

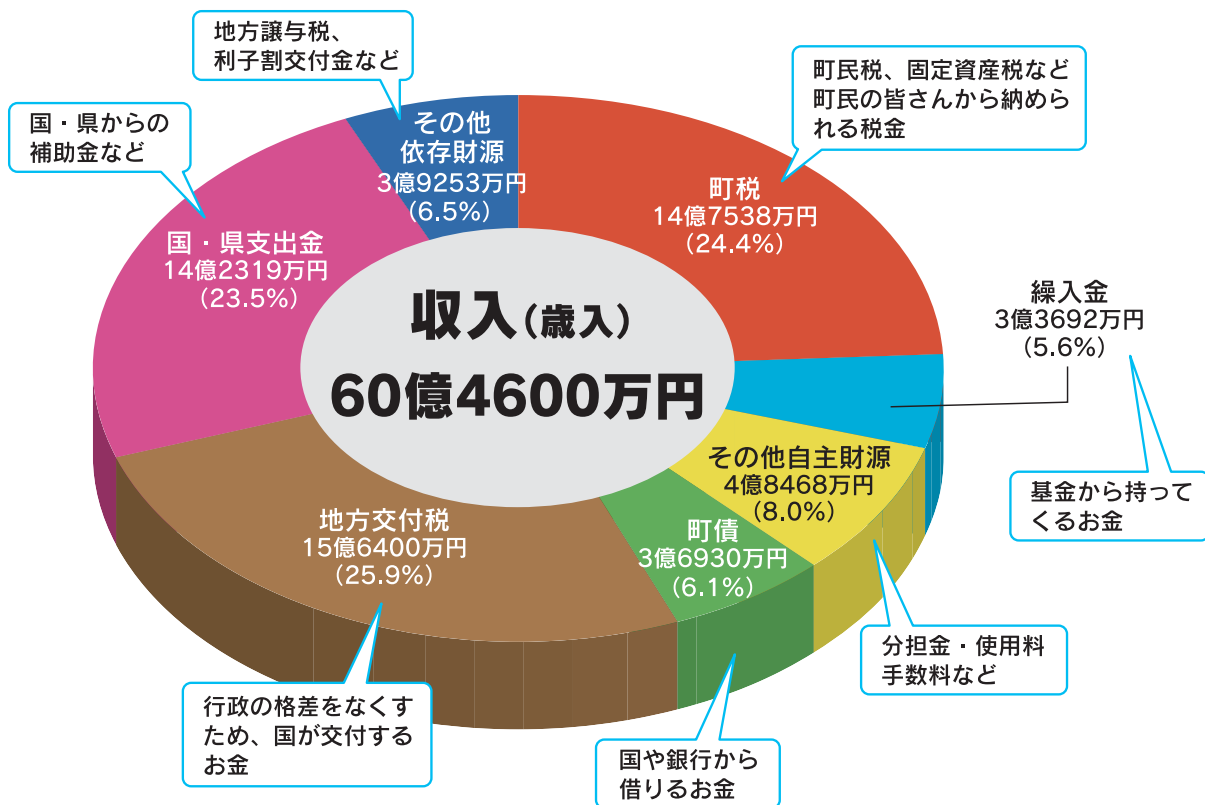
3月定例会で審議したこと

令和3年3月定例会は、3月9日から、3月22日までの14日間の会期で開催されました。町長提出の令和2年度の補正予算9件、条例関係7件のほか、令和3年度当初予算関係では、一般会計など8会計について2日間の勉強会を行い、24件の各議案並びに追加議案4件に対し、審議しました。

支出の内訳



収入の内訳



令和3年度特別会計及び企業会計の当初予算

会計名		3年度当初予算	2年度当初予算	前年度との比較
特別会計	国民健康保険	1,390,963千円	1,439,072千円	▲ 48,109千円
	介護保険	1,269,738千円	1,254,122千円	15,616千円
	後期高齢者医療	173,587千円	158,351千円	15,236千円
	国民健康保険診療所	11,344千円	8,621千円	2,723千円
	農業集落排水事業	1,791千円	23,965千円	▲ 22,174千円
企業会計	公共下水道事業	1,362,804千円	1,382,406千円	▲ 19,602千円
	水道事業	713,315千円	757,189千円	▲ 43,874千円

特別・企業会計予算説明概要

国民健康保険

県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担う事となっています。

市町ごとの国保事業費納付金の額を決定し、納付に必要な費用は全額市町に対して支払われます。市町は、資格管理、保険給付、国民健康保険税の賦課・徴収・保険事業等を行います。

して「地域包括ケアシステム」を進めます。地域支援事業として、介護予防・生活支援サービス事業の充実、地域における自主的な介護予防活動や支え合い活動の支援の充実を図ります。また、地域や関係機関と連携し、高齢者の見守り支援や認知症支援などの強化に取り組みます。

特定健診、各種がん検診などと連携し、円滑に事業を実施します。

国民健康保険診療所

「もの忘れ外来」の診療を行ない、隣接する地域包括支援センターや地域医療機関などと連携し、認知症の早期発見と早期治療に努めます。

し、老朽施設・設備の更新・長寿命化や自然災害に耐えうる施設の強靱化に取り組めます。また、下水道への加入促進に広報紙等を活用して取り組みます。

水道事業

浄水場を含めた水道施設の経年劣化に伴う更新・改良事業、異常気象に耐えうる施設の強化を行い、安全で美味しい水を供給できるよう努めます。

後期高齢者医療

県内すべての市町が加入する「長崎県後期高齢者医療広域連合」が主体となって運営されています。後期高齢者の健診事業については、

広域連合からの受託事業として国民健康保険

農業集落排水事業

平成28年度から取り組んでいる公共下水道との接続を行います。

公共下水道事業

良好で快適な生活環境が整ったまちを目指

介護保険

高齢者が住み慣れた佐々町でいつまでも暮らせるように、町ぐるみで支え合う仕組みと



補正予算

令和2年度

一般会計補正予算(第10号)

可決

歳入歳出それぞれ 2 億 2524 万円を追加し
予算総額 98 億 8786 万円となる

一般会計補正の主なもの

(歳入)		(歳出)	
・町民税	△ 1,981千円	・議会費	△ 1,149千円
・固定資産税	1,450千円	・新型コロナウイルス対策支援関連費用	153,055千円
・軽自動車税	61千円	うち保育従事者への慰労金支給事業	
・地方消費税交付金	16,578千円	1人当たり5万円支給	9,329千円
・国庫負担金	37,152千円	うちPCR検査費助成事業	
うち 新型コロナワクチン接種対策費負担金	34,929千円	1人当たり5千円×4回	15,608千円
・国庫補助金	111,487千円	うち事業継続支援給付金事業	95,990千円
うち 新型コロナ対応 地方創生臨時交付金	66,070千円	うち学校での感染防止の為の物品購入費	9,460千円
・委託金	△ 2,026千円	・ワクチン集団接種関連費用	64,629千円
・県支出金	4,119千円	・ふるさと納税事業費	△ 8,350千円
・基金繰入金	40,395千円	・住宅管理費 町営住宅関連	△ 13,238千円
・諸収入	355千円	・橋梁長寿命化対策工事費	24,000千円
・町債	29,000千円	・千本公園遊具ほか公園管理費	33,697千円
		・下水道事業会計補助金	△ 14,285千円
		・財政調整基金 積立	177,327千円

令和2年度各会計の補正予算

区 分	今回の補正金額	補正後の金額
一般会計補正予算(第10号)	2億2524万円	98億8786万円
国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	3936万円	14億8844万円
介護保険特別会計補正予算(第3号)	△4492万円	12億2752万円
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	△20万円	1億6582万円
国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)	△9万円	964万円
農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	△50万円	2393万円
水道事業会計補正予算(第4号)	△16万円	3億7174万円
公共下水道事業会計補正予算(第4号)	収益的収支	△1856万円
	資本的収支	3114万円

核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書

昨年2020年8月、広島、長崎への原爆投下から75年の節目を迎えました。また、今年2021年8月には、核拡散防止条約（NPT）再検討会議が開催され、核兵器廃絶への前進が期待される年になります。

1945年8月、広島、長崎にそれぞれ1発の原子爆弾が投下され、罪のない多くの市民の命が奪われ、街は破壊され、生き残った被爆者もその傷と後遺症に苦しみ続けてきました。

被爆者は長年にわたり、その筆舌に尽くし難い経験を人々に伝え、核兵器が人類と共存できないことを訴え続け、その声は世界を動かし、2017年7月7日、国連総会で、賛成多数にて核兵器禁止条約（TPNW）が採択されました。その後、この条約に署名し、批准する国や地域が広がり、条約調印国はアジア、ヨーロッパ、中南米、アフリカ、太平洋諸国の86カ国、批准国は52カ国となり、同条約は、2020年10月24日、批准国が50カ国となったことにより、2021年1月22日に発効されました。

これは、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）の貢献が大きいとされ、同団体は2017年10月6日にノーベル平和賞を受賞しました。この条約は核兵器の違法性や非人道性を明確に示しており、この条約の発効により「核兵器のない世界」を求める国際世論の高まりを受け、「軍縮」の後押しになるものと信じます。

この条約に反対するアメリカでも、カリフォルニア州議会やニュージャージー州議会、ロサンゼルス市議会、ボルティモア市議会で核兵器禁止条約（TPNW）を支持し決議されています。

日本国内では、2月2日現在、全国531自治体議会で、県内では長崎市議会ほか9市町議会で同趣旨の決議をしています。

日本は唯一の戦争被爆国であり、核兵器廃絶の問題でも最も積極的な役割を果たすべき立場にあり、国際社会からもその働きが求められているにもかかわらず、核兵器禁止条約（TPNW）に反対の態度をとり続けることは、被爆者をはじめ核廃絶を求める多くの国民の願いに反するものです。

日本政府がこれまでの態度を改め、速やかに核兵器禁止条約（TPNW）へ署名し、批准することを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 3年 3月22日

長崎県佐々町議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣

政府へ「核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書」を提出

3月定例会の最終本会議において、左記の意見書が全会一致により可決されましたので、佐々町議会は3月26日に政府に対し意見書を送付しました。

令和3年2月臨時会 賛否表

○ は賛成 × は反対

議案番号	議案件名	須藤敏規	浜野 亘	永田勝美	長谷川忠	阿部 豊	永安文男	橋本義雄	平田康範	淡田邦夫	川副善敬	評決数	結果
1	専決処分した事件の承認を求める件 (佐々町税外収入督促手数料及び延滞金に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	川副善敬	9対0	承認
2	専決処分した事件の承認を求める件 (令和2年度 佐々町一般会計補正予算(第8号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	川副善敬	9対0	承認
3	令和2年度 佐々町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	川副善敬	9対0	可決
4	工事請負変更契約締結の件 (令和元年度 令和元年災391-101中川原地区農業用施設災害復旧工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	川副善敬	9対0	可決

* 第1回臨時会は2月3日（水）に開会し、議案第1号から第3号までを審議しました。

* 第2回臨時会は2月10日（水）に開会し、議案第4号を審議しました。

令和3年3月定例会 賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案件名	須藤敏規	浜野 亘	永田勝美	長谷川忠 豊	阿部 豊	永安文男	橋本義雄	平田康範	淡田邦夫	川副善敬	評決数	結果
5	専決処分した事件の承認を求める件 (佐々町国民健康保険条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	承認
6	佐々町介護保険条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
7	佐々町介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する 条例の廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
8	佐々町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に 関する基準を定める条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
9	佐々町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び 運営に係る基準に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
10	佐々町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係 る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
11	佐々町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護 予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
12	佐々町基本構想策定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
13	令和2年度 佐々町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
14	令和2年度 佐々町国民健康保険特別会計補正予算 (第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
15	令和2年度 佐々町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
16	令和2年度 佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
17	令和2年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計補正 予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
18	令和2年度 佐々町農業集落排水事業特別会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
20	令和2年度 佐々町公共下水道事業会計補正予算 (第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
21	令和3年度 佐々町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
22	令和3年度 佐々町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
23	令和3年度 佐々町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
24	令和3年度 佐々町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
25	令和3年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
26	令和3年度 佐々町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
27	令和3年度 佐々町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
28	令和3年度 佐々町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
29	工事請負変更契約締結の件 (令和2年度大新田排水機場1号排水ポンプ補修)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
30	令和2年度 佐々町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
31	令和2年度 佐々町水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
32	町長及び副町長の給与に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
発議	佐々町議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
意見書	核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書(案)の 提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	

川副議長は裁決に加わりません

平田康範 議員(一問一答) …………… 9

- ① SSKより購入した土地の活用方針について
- ② シカ被害防止対策強化について

須藤敏規 議員(一問一答) …………… 10

- 事務の簡素合理化と透明性の確保について
- ① 一般会計から公共下水道会計（公営企業会計）への繰出金について
- ② 公共工事での変更契約の改善策について

淡田邦夫 議員(一問一答) …………… 11

- ① 7次総合計画をどのように実施するのか
- ② 佐世保市との連携協約の今後について
- ③ 町道の渋滞緩和はどのように

長谷川忠 議員(一問一答) …………… 12

- ① 令和3年4月からの小・中学校タブレット端末導入について
- ② 佐々町都市計画マスタープランアンケート調査について
- ③ 本町の遊休地(町有地)について
- ④ 3月下旬に迎える町制80周年記念式典について

浜野 巨 議員(一問一答) …………… 13

- ① 新型コロナワクチン接種方針とPCR検査等助成について
- ② 役場新庁舎の建設に係る公共施設の駐車場確保について
- ③ 第7次佐々町総合計画と第2期総合戦略の実践について
- ④ ワイヤーマッシュ等の取替えと鳥獣被害防止対策について

永田勝美 議員(一問一答) …………… 14

- ① 町政の基本姿勢について
- ② 新型コロナ対策について
- ③ 町内交通の整備について
- ④ くらし・福祉の充実に向けて

永安文男 議員(一問一答) …………… 15

- ① 防災対策について
- ② 公園管理について
- ③ 給食センター整備事業について
- ④ 保育行政について

橋本義雄 議員(一問一答) …………… 16

- ① まちづくりについて
- ② 河津桜祭りについて
- ③ 町有地活用について
- ④ 神田駅下河津桜と小浦ポンプ場裏の河津桜について



町制施行80周年記念式典(3月28日)

◎一般質問の記事について

質問した議員が執筆したものです。

◎一般質問方法

【一括質問一括答弁】 議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町側がその質問項目について一括して答弁を行います。

【一問一答方式】 文字どおり一つの質問項目ごとに町側から答弁を行います。

工業団地造成と企業誘致の方針は

工業団地造成で雇用の場の確保を考えています



平田 康 範

平成25年にSSKから工業団地を造成したいとの考えから土地を購入されている。しかしながら、今日まで団地造成に向けての取組みがなされていない状況であることから、早期に判断すべきとの思いから方針を質した。

■ 質 問

土地購入時点で計画区域内に私有地が点在していたが、私有地の買収は全て終わっているのか。

■ 町 長

令和元年度に3人、令和2年度に2人、合計5人の地権者について買取契約が完了しています。

あと、7人の地権者で4.5ヘクタールが現在残っています。

■ 質 問

団地造成と並行して行わなければいけないのは、企業誘致活動である。

企業からのオファーを待っていても企業の進出はあり得ない。

立地条件や地域の特性などを掲げ、積極的に企業訪問活動を行う必要があり、他の自治体は首長が自らトップセールスされている。

本町は、企業誘致に係る専門部署もなく、専任職員も配置されていない。

今後、誘致活動ができる体制ではないと判断するが。

■ 町 長

集中的に取り組み体制は限られた職員では厳しい面もあり、誘致活動に取り組みにくいところもありますが、雇用の場の確保も重要です。

町が進めている4大事業を先に進め、工業団地を整備し企業誘致を進めることを基本としています。

■ 質 問

新型コロナウイルス感染症の拡大で世界中の経済状況は一変しており、日本経済も同様で、いろいろな企業にも影響が出ている。

県・本町においては、新型コロナウイルス感染症対策事業で費用を要し、財政面にも影響が出ている。

さらに、本町は懸案事項である4大事業の財源が必要となってくる。

団地造成には多額の造成費が必要となるが、財源の捻出は、できるのか。

企業誘致活動が十分にできないのであれば、工業団地造成以外の活用について、見直す余地はないのか。

■ 町 長

雇用の場の確保のため、工業団地を整備し、企業誘致を進めていく基本的な考えは変わりません。

■ 質 問

購入した土地は一団の土地で、佐々インターも近い。

民間企業の力を借り、人口増加となる子育て世代を中心とした定住促進につながる宅地造成に方針を変えたらどうか、提案する。

最低売却価額を設定し、民間事業者の創意工夫により、子育て世代も購入しやすい分譲価額の設定、計画的な分譲方針、町への波及効果など総合的に比較評価する事業提案評価方式を用いた公募型プロポーザル方式による宅地造成を進めたらどうか。

■ 町 長

人口が増加することはいいことですが、急激に人口が増加すると保育所、学校など教育環境の整備、飲料水の確保などの問題が発生します。

社会資本の整備費用も同時に考える必要があります。

町としては、工業団地を造成し、雇用の場を確保するため、企業の誘致を進める方針です。

シカによる被害防止対策の強化を

被害防止対策に 取り組みます

■ 質 問

シカの捕獲報奨金もイノシシの捕獲報奨金と同額にすべきではないのか。

また、シカの進入防護柵もワイヤーメッシュと電気柵の複合柵の設置などに取り組むべきではないのか。

■ 町 長

報奨金の変更については、検討します。

また、先進地を参考にするなど、被害防止対策に取り組まなければならないと思っています。



先進地視察研修先の複合柵



須藤 敏規

一般会計から企業会計(下水道)への繰出金が適正なのか。国が定めた基準以上に繰出しをして、一般会計のやるべき事業やサービスに影響を与えているのではないかと。多く出している根拠を示して頂きたい。

■ 質 問

総務省の繰出基準ではいくらの金額が、実際に入ってくるのか。経理について、汚水と雨水は、分離して経理しているのか。

■ 水道課長

基準内で2億8336万4千円、基準外で3月補正を見込んで5992万2千円の予定です。

交付税に算入される、算定の基礎となる料金です。

雨水と汚水はしっかり分けて計算しています。

■ 質 問

普通交付税か特別交付税か実際に入ってくる金額は。

国の繰出基準はあるが一般会計からの繰出基準はあるのか。

■ 企画財政課長

下水道全体で交付税措置として、2億1646万1千円が令和2年度の交付税算入額となります。

町独自では基準のようなものは持ち合わせていません。

■ 町 長

基準外繰入について、下水道の使用料の料金改定を検討させていただきたい。

独立採算というのを考えれば、来年度中に改定について協議させていただきたい。

公共工事の変更契約の改善策について

工事の請負や委託業務の変更が目立っている。施工が困難なものを除き別途に発注契約となっているが、改善策はないのか。

■ 質 問

監督員と検査員の違い、権限の違いはどの様なところか。

■ 建設課長

地方自治法第234条の3の規定で、契約の適正な履行を確保するために監督をしなければならぬ。それと、工事の確認をするために検査をしなければならぬとされています。

権限としては、監督員は、

指示、承諾、協議を行うことや、工程の把握、立合い、施工状況の確認を行うこととなります。

検査員については、工事が完成し検査を行い、可否の判定をします。

現場説明等については、縦覧設計書や仕様書を指名業者に渡しています。契約書第18条に現場説明の記載がありますが、原則実施することはありません。特殊な事案で説明が難しい時を想定しています。

設計変更のタイミングは、業者が設計図書等を最終的に確認され、疑義がある部分について書面で監督員のほうに確認を行って変更していく状況です。

契約変更できる金額の基準は、明確な基準等を示したものはありません。設計変更がイドラインを策定しており、受注者と発注者が協議して定めるとしています。

■ 質 問

下請け、孫請けの届出が出た場合、監督員はどこを

チェックされるのか。

■ 建設課長

下請け関係の届出は、全体の施工計画等の中で、一緒に下請けの計画等も出されます。どの業務を下請けに出すのか。下請けの金額が適正な金額であるのか。期間がどの程度なのか。そういうものを確認しながら下請けが適正かということを判断しています。

■ 質 問

契約書の建設工事の条件変更18条の5項目があるが、どのようなものが多いのか。

検査員の検査要綱など作つてあるのか。知識がなければできないが。

■ 建設課長

件数等は、把握していません。明確な検査要綱は、規定していません。過去の経験もあるが、いろんな書物を参考に、チェック項目を見ながら確認をしています。

■ 町 長

検査要綱については、十分検討させていただきたい。



淡田 邦夫

7次総合計画をどのように実施するのか

総合計画の進行管理は行政評価を取り入れる

総合計画は佐々町の5年後、10年後の方針を決める大切な計画で、6次総合計画が年度末にて終了し4月から7次総合計画が始まる。
6次計画の反省を踏まえて、7次計画の実施計画を質問した。

■ 質問

6次総合計画においての会議資料の提出を求めたが、資料はないと返事があった。会議を行ったのか、会議を取ったが会議録を取っていないのか。

■ 企画財政課長

年度ごとの評価見直しは出ていませんが、年度末決算時には目標値の進捗状況を確認しています。

■ 質問

6次総合計画後期においては、実現に向けた取り組となっているが、どのように実施されたのか。

■ 町長

毎年度、修正や補充は行っています。総合計画に掲げた総合戦略に関わる事業は評価検証委員会にて評価をしています。

■ 質問

遊休町有地を今後どのように活用するのか。

■ 町長

総務課長を中心として内部委員会で検討しています。

■ 総務課長

町有地活用基本方針を作成しており、内部委員会として副町長、理事、建設課長で構成し、一つ一つの土地を判定し中心部とか、大規模な土地を検討していきます。外部委員会等の立ち上げも視野に入れて考えています。

■ 意見

佐々駅〜小浦駅間に白ノ浦線があった。目測で長さ150メートル、幅10メートルの町有地も活用してはどうか。



廃線となった白ノ浦線（町有地）

町道の渋滞緩和はどのように

対策はなかなか厳しい

佐々〜佐世保間の4車線化工事が始まり大型トラックが目立つようになり、朝夕の高速道路入口の渋滞状況は一段と多くなった。また、町道赤崎線と四ツ井樋との信号機での朝夕時の右折時の渋滞緩和はどのように。

■ 質問

朝夕の高速道路入口の渋滞が以前より多くなったが何か対策はあるのか。

■ 町長

対策は厳しい。佐々と佐世保間の4車線化工事が本格的に始まって全区间を一緒に行っており、車の数が多くなっています。

■ 質問

四ツ井樋の信号機入口の町道が大変狭く、事故になる恐れがあるが対策はないのか。

■ 建設課長

昨年末に安全対策のためにポストコーンを設置したため、対向車線が狭くなっています。

現地を確認して拡張等が可能であれば、用地、予算の問題を十分に検討して進めさせていただきます。

■ 質問

四ツ井樋の信号機と小佐々方面交差点の信号機間が近く右折が出来ない状態となっているが何か対策はないのか。

■ 建設課長

赤崎線から県道への出口は朝の時間帯だけは、小佐々方面との三差路の信号機と連動させて調整を図っていますが、小佐々方面に行く車が多くあり慢性的につながっている状態です。

また公安委員会とも相談しながら、信号機の調整を図ります。

佐世保市との連携協約の今後について

他の市町との共有は出来ている

佐世保市は4市6町と平成31年1月に連携協約を締結され、佐々町は、佐世保市と令和2年3月に締結したが、その後の他の市町との遅れはないかの質問をした。

小中学校オンライン学習の課題は

スムーズな運用につとめる

小中学校タブレット端末導入により、学力や生活習慣に支障は生じないか。また、教職員へ指導の負担増にはつながらないかと質した。



長谷川 忠

■ 質問

国の政策として、昨年新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、前例なき小中学校全国臨時休校となりました。それにより、児童生徒達の自宅学習能力低下が課題となり、国はオンライン学習を、本年4月から1人1台のタブレット導入をはじめますが、課題はないのか。

■ 教育長

教育が大きく変わると予想され、教職員や保護者および児童生徒も戸惑うと思いますが、スムーズに運用できるように取組みを行っています。

■ 質問

健康面の不安、視力や生活習慣の変化によるネット依存などの心配がある。また、教職員への負担増に繋がらないのか。

■ 教育長

視力の低下等健康面の不安もありますが、使用する条件等について協議し対応を進めたい。教職員の負担増は、少しでも緩和したい趣旨にて、各学校にICT（情報通信システム）支援員を配置しています。

佐々町都市計画マスタープラン・アンケートの住民の声をどう活かす

町民の声を取り入れながら計画を策定していく

■ 質問

昨年9月に住民アンケートが実施され、回収率37%余の結果で、特に防災に関する安心安全な町の関心度が高く、買物・通院支援などの行政補助や医療・福祉環境の整った町を希望する声が多かったが、町長の考えは。

■ 町長

本町としては、町民の皆様を考えを取り入れながら、基礎資料として活用したいと考えています。

旧幼稚園跡地の解体工事後における、敷地利活用の検討はどのような考えか

町有地の調査結果に基づき整理をおこなう

■ 質問

幼稚園跡地は、町の普通財産として2700㎡の1等地である。

「シロウオまつり」の際は臨時駐車場となっているが、通常の土日祝日限定の利用は検討できないか。

■ 総務課長

土日祝日の一般への無料駐車場としての開放というのは、今のところ考えていない。



幼稚園跡地

コロナ禍のもと、町制80周年記念式典どう開催するのか

感染拡大の防止のために規模を縮小しての開催とする

■ 質問

70周年記念式典の際は、「記憶は未来へ旅をする（炭鉱・国鉄松浦線と共に）」のDVDを作成しているが、今回はどうする。

■ 町長

当日は、メッセージのビデオを会場で放映し、町の歴史や未来などを、心を込めて伝えていきたいと考えています。その後、町のホームページなどで閲覧できるようにしていきます。



町制施行80周年記念式典



浜野 亘

高齢者の新型コロナワクチン接種の予定は現時点では具体的に進んでいない 新型コロナとPCR検査相談のコールセンターをワクチン接種の予約センターを設け対応したい

■ 質問
国は4月5日の週から新型コロナワクチンを全国の自治体へ配送することになり、県内で早い市町は12日からのようにだが、本町でのワクチン接種の計画の現況について質問した。

■ 質問
コロナワクチンの接種は町立診療所や町内の医院で計画されているようであるが、どのような状況か。

■ 町長
4月19日と26日の週にそれぞれ487人分が配送されましたが、現時点ではクーポン券の発送などお示し出来ない状況で、時期を見てホームページ等でお知らせします。

■ 質問
新型コロナワクチンの接種時期・予約やPCR検査への助成について、新型コロナに関する相談を受付する所を明確にして、町民の相談に対応して欲しいとの思いで、コールセンターの設置について提案し質問した。

■ 質問
PCR検査を受けたくてもどこで検査できるのか。検査費用に対する助成額や対象者等の問い合わせの対応窓口が必要と思うが。

■ 保険環境課長
予約相談センターを健康相談センター内に設け、予約受付や相談などの対応を行うと考えており、また、PCR検査の助成は1回につき限度額5,000円とし、1人4回までと考えています。



佐々町ホームページより

■ 質問
公共施設の駐車場の確保は進んでいるか

■ 町長
近隣の用地確保は難しいのではないかと懸念

昨年12月に役場や公共施設の駐車場の問題を提起したが、地権者との交渉は進んでいないようなので、時間が過ぎて行くだけで心配になって再度質問した。

■ 質問
新庁舎建設工事の期間中の約2年間は、周辺の公共施設の駐車場が足りなくなるが、地権者との交渉はどうか。

■ 町長
用地交渉は相手方の意向もあり、多額の費用が必要となり現状では難しいのではないかと思います。

■ 意見
難しいと考えるだけでは進まないで、職員に指示するなり、動いてみてください。

■ 質問
政策をきちんとやれば人口は増えるのでは

■ 町長
人口を減らさないように頑張る

3月に策定された総合計画では10年後の将来の人口予測が13,900人、40年後は11,900人との計画である。実態に即していないし、発展を望んでいないと思ひ質問した。

■ 質問
目標人口より、政策をきちんとやって行けば人口は増えるような計画書を作るべきだ。

■ 町長
社会保障・人口問題研究所が出した数値で示しており、人口を減らさないように頑張ります。

■ 町長
放置すれば山間部の農業は荒廃するのでは

■ 町長
国・県にも相談し、話し合いをしてから

ワイヤーメッシュは耐用年数前なのに、腐食により穴が空いている。補助事業で設置しているため、撤去もできない。イノシシだけでなく鹿の被害も出ているが、今後どのようにされるのかとの思いで質問した。



大茂地区ワイヤーメッシュの腐食

カーボンニュートラル(脱炭素)を町の政策の重要なテーマとすべきではないか

方向性については町としても率先してやらなければならない

昨年政府は2050年二酸化炭素排出ゼロ(カーボンニュートラル)政策を発表しました。町としてどのように対応していくのか基本姿勢を質した。



永田勝美

■質問

地球温暖化の影響は様々な問題が指摘されている。巨大台風の襲来・未知のウイルスの出現・大規模な気候変動による食糧危機など人類の生存に関わるとされている。

佐々町にとっても人ごとではない。町の政策として2050年の時代を迎える住宅の高断熱・省エネの推奨や太陽光発電の推奨・助成。また、リサイクルについてもゴミ発電なども重要な政策課題となってくる。町の基本政策の柱として、知恵を集め研究していくことが求められるのではないかと。

■町長

大変重要なことと認識している。具体的検討がまだ行っていないが、国・県とも一緒にやってやりながら、検討していきたい。公用車に電気自動車とか、公共施設へのソーラーパネルの設置・断熱効果を高めるなどやっていかなくてはならない。町としてもそういう方向性としては率先してやらなければならないと考えています。

防災・減災の専任を配置し国制度の活用を行うべき

専従職員の配置は難しい 緊急防災事業債は積極活用していく

大規模化する災害の防止に向け、防災・減災の事業は極めて重要となっています。専任で担当する職員がいない状況では取り組みの蓄積・継続が出来ず、今後の対応にも限界があると考え質問しました。また、国の緊急防災事業債などの「制度活用で町民の要望の強い施設の改善も可能となる」という角度での質問を行いました。

■質問

防災を専従で担当する職員の配置を繰り返し提起してきました。それは、継続的取り組みと蓄積が求められるからだ。人の対策は検討しているのか。

■総務課長

専従配置はむずかしい。チームを組んで知見を引き継ぎ、職員を育てていく必要があると考えています。

■質問

専従職員を配置して、5年・10年のサイクルで人を育てていく必要があると考える。再度検討を求めます。国の緊急自然災害対策事業債など政府の災害対策補助制

度が今回5年延長された。この制度を活用すれば出来る事業が数多くある。ため池の保全なども対象となっている。また、避難所のエアコンや町や中学校の体育館などのエアコン整備も可能となるのではないかと。

■町長

防災無線のデジタル化、公共施設の耐震化、ため池法面の防護などに活用していきたいと考えています。また、避難所(交流センター)のエアコンについては今回のコロナ対策として県から大型のスポットクーラーが提供されましたので、活用していきたいと考えています。

■意見

スポットクーラーについては夏場など、日常的にも活用していくべきだ。

多目的の町内循環バスの実現を求める

担当に研究させたい

町内循環バスについては、九州でも成功事例はあるとして、研究し、具体化することを強く求めました。あわせて、タクシー券補助の制度改善が遅れていることを指摘しました。

■質問

佐々町で高齢者に対して支給されているタクシー券補助は大変喜ばれているが、「利用期間の制限」「複数枚数利用が出来ない」など、改善を求める声を伝えてきたが、まったく手がついていない。町内循環バスについても4年間質問しているが前進がない。基本的に意欲が感じられないのではないかと。

■町長

低廉な費用で実施している事例は担当に研究させたい。

保育所給食はすべての子どもを無料に

財政的に実施は厳しい

国保の均等割廃止など引下げを求める

医療費対策を行っていく

そのほか、新型コロナウイルス対策に関して質問し、具体化の内容が示されました。



永安文男

防災士のネットワークを構築する考えは大変重要なことであり、前向きに取り組みたい

東日本大震災から10年のこの時期に、再び福島県沖でマグニチュード7.3の地震が発生した。日頃からの防災意識と体制の整備が重要と考え、地域防災計画の策定状況を質した。

■ **質問**
地域防災計画及び業務継続計画の進捗状況は。

■ **町長**
地域防災計画は昨年の7月と2月に2回の防災会議を書面で開催、現在最終調整を行っています。3月年度末までにはできると思います。

■ **質問**
自主防災組織の活動実施の状況と町からの支援の考え方は。

■ **町長**
今般の新型コロナウイルス感染症の対応では、地方創生の臨時交付金を活用しながら各町内会集会所にマスク、手指の消毒用品とか非接触系の体温計、間仕切りパーテーション、簡易ベッドや備蓄倉庫等の整備を行っています。

防災訓練は、現在策定している自主防災組織の運営マニュアルを活用しながら、少数での訓練や出前講座を実施していきます。

■ **質問**
指定避難所の地域交流センターの整備状況は。

■ **町長**
地域交流センターにもパーテーション、簡易ベッド等の

整備を行っています。エアコンについては、スポットクーラーでの対応を考えています。

■ **質問**
災害弱者への対応と要支援者の支援計画は。

■ **町長**
包括支援センターが行動支援者の把握をしています。現在避難支援の個別計画を策定しています。

■ **質問**
防災士・地域防災リーダーのネットワーク構築の考えは。

■ **町長**
防災リーダーの育成は大変重要と思っています。活動の活性化からも仕組みづくりは重要ですので、町としても前向きに取り組めます。



自主防災組織出前講座

公園管理の取り組みは

効率的に維持管理をやっていく

■ **質問**
公園遊具の保守点検はどのようになっているか。

■ **建設課長**
毎年一回職員で点検をしています。限界があると思えますので、現在専門業者に委託することも考え、安全が担保できればと思っています。



古川児童遊園地

給食センターを、サン・ビレッジ横にと提案したが検討結果は

有力な候補地の一つとして検討している

町立第2保育所の民営化の考えは

保育所民営化の方針は変わっていない早く結論を出して進んでいきたい

■ **質問**
町の財政面、職員体制の面からも早急に検討を進める必要があると思うが。

■ **町長**
保育所の民営化というのは、私の方針は変わっていません。施設の整備等の将来的な財政負担や、会計年度任用職員の問題等いろいろなことを踏まえまして、町としては現段階では明確にはしていませんが、私としては民営化をしていかなければならないと思っています。

北部の河川公園はどう検討されたのか



橋本 義雄

補助事業でとを考えているが現状は厳しい

■ 質問
北部の河川公園を、ウォーキングの休憩所とし、住民の健康づくり、憩いの場として



北部（佐々川上流）にも河川公園を

■ 町長
上中下にバランスの取れた公園があればよいのですが、現状では、厳しい。

■ 質問
佐々川を中心としたまちづくりを推進していくのであれば、バランスの取れたまちづくりをしなければいけないと思う。下流の方には、桜堤、そして市瀬の河川公園、それから上流には、何も無い。北部にも住民の健康づくり、憩いの場として河川公園は必要ではないかと思うが。

■ 質問
春の山団地跡町有地について、同僚議員も何回となく質問をされたと思います。私も29年、30年と質問致しました。

町有地活用について

■ 意見
ホームページの案内を見てこれらのお客さんばかりではありません。その場でわかるような看板なり案内をすべき。

■ 産業経済課長
ベンチの設置までは至っておりません。有効な補助があれば進めていきたいと考えています。駐車場については、町のホームページで案内、インターネットやスマートフォンで確認ができるという形を取らせて頂いております。

■ 質問
以前質問で、ベンチの設置をお願いしていましたが、どうされたのか。また、駐車場についてもどのように対応されたのか。佐々駅からの案内についてもどのようにされたのか。

■ 桜づつみ等の整備について
是非、取り組んでもらいたい。

■ 質問
神田駅下の河津桜は、30年の台風で倒れ、そのままの状態で放置されている。補植はしないのか。

神田駅下と小浦工業団地裏の河津桜について



解体されてから10年以上になる春の山団地跡地

■ 町長
町有地の検討委員会でも今後検討していきたいと考えています。

春の山団地が解体されてから10年以上になります。どうされるのか、まだ協議中なのかお聞かせください。



神田駅下河津桜の早急な補植を

■ 建設課長
桜の開花が今回合わなかった部分があり、今後時期を逸さないよう手入れをしていければと思っております。

■ 質問
小浦工業団地裏の河津桜は見ごろを迎えているのに、力ヤが生えカズラがまいていました。多くの住民の方が花見に来られます。これでいいのですか。

■ 建設課長
専門業者さんとも話をさせて頂いて補植ができればしていきたいと考えています。

常任委員会報告

総務厚生委員会

所管事務調査

1月28日(木)

1. 佐々町税外収入督促手数料及び延滞金に関する条例の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律が令和3年1月1日に施行されるため、令和2年12月28日に専決処分を行ったもので、「延滞金特例基準割合」と「平均貸付割合」の名称変更について改正を行ったもの。施行期日は令和3年1月1日です。

2. 新型コロナウイルスワクチン接種事業について

医療従事者向けの接種は2月中旬から開始、高

この新型コロナウイルス接種事業は、国も各市町村もこれから具体化されていくということです。

3. 第7次総合計画及び第2期総合戦略の素案について

年齢向けの優先接種とその他の方については市町村が実施するもので、ファザー社のワクチンで、接種場所は町立診療所を予定している。ワクチンの接種について、接種体制確保事業(準備と接種券発送・予約に係るもの)と対策事業(集団・個別接種の実施に係るもの)でそれぞれ令和2年度と3年度の事業があること。町内医療機関と協議し、町立診療所を会場として集団接種を実施したいということ等の説明がありました。

ワクチンが3種類あるが、住民が選択できるのか。
A 接種会場で取扱うワクチンは1種類なので選ぶことはできない。

まちづくりの基本方針針、町の将来像として「暮らしがいちばん!住むならさざ〜みんなが輝き、みんなで創るまち〜」とすること。
まちづくりの基本目標として、1.「医療・福祉」が充実したやさしいまち、2.「教育・文化」で輝くまち、3.「生活・安全」を大切するまち、4.「自然・環境」を守り続けるまち、5.「産業・観光」でにぎわうまち、6.「行政・財政」が持続可能なまち、7.「情報共有・協働」のみんなのまちということでの説明がありました。

では、4つの基本目標①若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、まちの未来を担う人材を育成する②誰もがいきいきと安心して暮らすことのできるまちをつくる③町民の生活を支える産業を持続・発展させる④まちの魅力発信し、新しいひとの流れとつながりをつくることを定めその目標を実現する施策等の説明、及びSDGs(持続的な開発目標)の仕分けの説明を受けました。

将来展望人口については、目標年次の人口を設定して施策展開をすべきではないか。
A よく検討をして後日修正し報告します。

2月9日(火)

1. 条例等について

介護保険関係の5本の条例の一部改正と1本の条例の廃止

内容については、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令が公布されたことによる、それぞれの条例等の改正について説明を受けました。

3. 学童保育について

3つの調査項目の説明があり、他自治体の運営状況及び平成31年度から令和3年度に係る委託費の増加について考え方の説明がありました。

令和4年度から同じ考えでいくのか。
A 令和4年度に向けては、検証しながら今後のあり方を検討させていただきます。

新規の事業所を入れることは現在考えていません。
Q 地域密着型サービスで町内にない部分について、その必要性をどう考えているか。
A 今後9期計画に向けて検討します。

【その他報告】
西九州させほ広域都市圏連携事業の進捗状況について、ほか6件の報告を受けました。

【その他報告】
業時短要請の件

産業建設文教委員会

所管事務調査

1月29日(金)

1. 農林業について

① 工事請負変更契約締結について

中川原地区農業用施設災害復旧工事(令和元年に被災した大新田堰の頭首工の工事)で、施工の段階で大型車両等の搬入で危険性があるため、回

転場所の確保と敷鉄板の追加、作業スペース確保などにより設計変更が生じ、予算の補正が必要との説明を受けた。

② プレミアム付商品券の最終販売(1次販売の売れ残り分)について

1次販売は1月22日現在で1700セット残る見込みで、2月7日に特販会を行うとの説明を受けた。

③ 県の緊急事態宣言に伴う飲食店等への営業時

短要請の対応について

県からの時短要請(1月20日から2月7日)に応じた店舗に1日4万円

で合計76万円支給されるが、町は1割負担となり、県の資料では町内に該当する店舗は96店舗と

は補助対象外となりません。

ただし、栗石追加投入は補助対象外となりません。

説明を受けた。

【その他報告】

① し尿ごみ処理について

1月21日に関係町内会

の方に集まっていただ

き、環境整備について協

議したとの説明を受けた。

② 佐々町都市計画マスタープラン及び立地適

正化計画策定業務の進

捗状況について

令和2年度から令和3

年度の事業で、策定に関

するアンケート調査の結

果報告を受けた。

また、人口減少の中で

人口密度を維持し、危険

個所を排除し、医療・福

祉・買い物など暮らしや

すい居住地に誘導するよ

うな区域を設定した計画

策定をしているとの説明を受けた。

2月8日(月)

1. まちづくりについて

① 佐々町都市計画マス

タープラン及び立地適

正化計画策定業務の進

捗状況について

令和2年度から令和3

年度の事業で、策定に関

するアンケート調査の結

果報告を受けた。

また、人口減少の中で

人口密度を維持し、危険

個所を排除し、医療・福

祉・買い物など暮らしや

すい居住地に誘導するよ

うな区域を設定した計画

策定をしているとの説明

を受けた。

② 道路等の愛護団体制度

について

令和2年7月からボラ

ンティア団体を登録して

いただき、現在までに5

団体で延べ107人が活

動されている。

団体登録には保険適用

の関係で名簿が必要であ

るが、町内会単位の場合

は省略が可能となるの

で、今後は町内会として

登録ができるように要綱

を改正したいと説明を受けた。

② 上下水道料金及び一般

会計繰入金について

企業債の借入は、投資

的事業の50%までとして

いるが、最大75%までに

引き上げ、耐用年数に応

じた償還年数の設定や元

金据置方式の導入を検討

する。

また、下水道使用料の

検討結果と基準外繰入額

と留保財源の取り崩しに

ついての説明を受けた。

③ 農林業について

① 大新田排水機場1号排

水ポンプ補修の工事請

負変更契約締結につい

て

大新田排水機場の長寿

命化対策で、ポンプの

オーバーホールを行った

結果、主軸芯棒の交換が

必要となり、補正予算と

して、変更契約締結と繰

越手続きを議会へ提出す

るとの説明を受けた。

② 私債権管理条例につい

て

③ 西九州自動車道につい

て

④ 佐々川の伐採、浚渫に

ついて

⑤ 地方創生事業(駅舎改

修)について

⑥ 雨水排水事業の経過に

ついて

⑦ 農業集落排水事業特別

会計について

⑧ 西九州させば広域都市

圏連携事業の進捗状況

について

⑨ 第7次総合計画及び第

2期総合戦略の素案に

ついて

⑩ 大新田排水機場1号排

水ポンプ補修の工事請

負変更契約締結につい

て

大新田排水機場の長寿

命化対策で、ポンプの

オーバーホールを行った

結果、主軸芯棒の交換が

必要となり、補正予算と

して、変更契約締結と繰

越手続きを議会へ提出す

るとの説明を受けた。

⑪ 事業の繰越について

⑫ 私債権管理条例につい

て

⑬ 西九州自動車道につい

て

⑭ 佐々川の伐採、浚渫に

ついて

⑮ 地方創生事業(駅舎改修)について

⑯ 雨水排水事業の経過について

⑰ 農業集落排水事業特別会計について

⑱ 西九州させば広域都市圏連携事業の進捗状況について

⑲ 第7次総合計画及び第2期総合戦略の素案について

⑳ 大新田排水機場1号排水ポンプ補修の工事請負変更契約締結について

大新田排水機場の長寿命化対策で、ポンプのオーバーホールを行った結果、主軸芯棒の交換が必要となり、補正予算として、変更契約締結と繰越手続きを議会へ提出するとの説明を受けた。

㉑ 事業の繰越について

㉒ 私債権管理条例について

㉓ 西九州自動車道について

㉔ 佐々川の伐採、浚渫について

㉕ 地方創生事業(駅舎改修)について

㉖ 雨水排水事業の経過について

㉗ 農業集落排水事業特別会計について

㉘ 西九州させば広域都市圏連携事業の進捗状況について

㉙ 第7次総合計画及び第2期総合戦略の素案について

㉚ 大新田排水機場1号排水ポンプ補修の工事請負変更契約締結について

大新田排水機場の長寿命化対策で、ポンプのオーバーホールを行った結果、主軸芯棒の交換が必要となり、補正予算として、変更契約締結と繰越手続きを議会へ提出するとの説明を受けた。

㉛ 事業の繰越について

㉜ 私債権管理条例について

㉝ 西九州自動車道について

㉞ 佐々川の伐採、浚渫について

㉟ 地方創生事業(駅舎改修)について

㊱ 雨水排水事業の経過について

㊲ 農業集落排水事業特別会計について

㊳ 西九州させば広域都市圏連携事業の進捗状況について

㊴ 第7次総合計画及び第2期総合戦略の素案について

㊵ 大新田排水機場1号排水ポンプ補修の工事請負変更契約締結について

大新田排水機場の長寿命化対策で、ポンプのオーバーホールを行った結果、主軸芯棒の交換が必要となり、補正予算として、変更契約締結と繰越手続きを議会へ提出するとの説明を受けた。

㊶ 事業の繰越について

㊷ 私債権管理条例について

㊸ 西九州自動車道について

新庁舎建設に関する 調査特別委員会

●第7回調査特別委員会

1月13日(水)

①第1回新庁舎デザイン

ワークショップ等の結

果について

昨年の11月29日に第1回目の町民向けワークショップ(W S)を「新庁舎のアイデアをみんなで考える」というテーマで開催しました。51名(一般の方は31名)の参加者が得られ、6班に分け「町の良いところ・町の課題」について書き出し、「新庁舎でやりたいこと・受けたいサービス」で意見交換し、班ごとにまとめを発表していただいた。様々な意見が出されたとの報告を受けた。

委員からは、W Sでの意見をすべて取り入れる

考えか、また水害対策のための嵩上げを50cm程するとのことであるが、その考え方についての確認

があり、意見を採用する

かしないかは別として意見はすべて考えるとのこ

とです。水害対策は排水

の面を含め勾配など十分に

考えていきたいとの説明

を受けた。

町民の方には基本設計の

パブリックコメント・住民

説明会とするように日程

を組んでみたと総務課か

ら報告を受けた。

委員からは、基本設計

の完成が今年度末を超え

ること、起債に影響は

ないかの確認があり、基

本設計・実施設計を一本

化して契約しているの

で、この時点で着手とな

り、起債は条件を満たし

ているし、県にも確認を

とっているとの説明を受

けた。

延期になっていた第2

回目の町民向けのワー

クショップ(W S)を、2月21

日に地域交流センターで

開催し、参加者は19名(一

般の方は14名)でした。

コミュニティスペース・キ

ッズスペース・食べる場所・

ランドスケープ・活動その他・

建築総合の6つのテーマを設

け、興味があるテーマ

に、1人3つ参加し自由

な意見を付箋紙に書く方

式で開催しました。最後

に班毎のファシリテーター

が項目ごとにまとめら

れたとの報告を受けた。

委員からは、庁舎の管

理上、庁舎の用途を決め

ておかないと收拾がつか

ないし、他の施設との連

携が大事だと思ふとの意

見があり、今後、町民に

説明して、他の施設の活

用につなげていきたいと

の説明を受けた。

●第8回調査特別委員会

2月4日(木)

①佐々町庁舎建設工事業

本設計・実施設計業務

のスケジュール変更に

ついて

新型コロナウイルスの感染拡大

で第2回と第3回の町民

果について

●第9回調査特別委員会

3月3日(水)

①第2回新庁舎デザイン

ワークショップ等の結

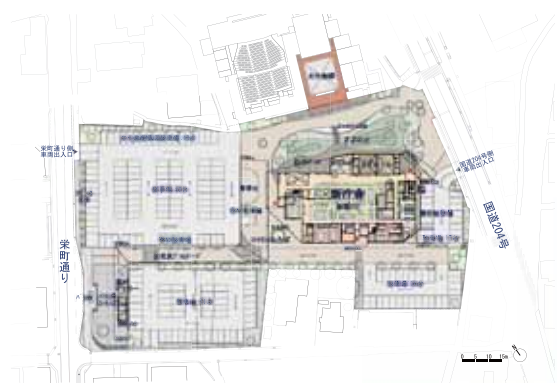
果について

新型コロナウイルスの感染拡大

で第2回と第3回の町民

果について

新庁舎の配置図と完成イメージ



- | | | | |
|------|-------------------------------------|------|----------------------|
| 7日 | 議会だより編集委員会 | 12日 | 長崎県町村議会議長会
定期総会 |
| 13日 | 新庁舎建設に関する調査
特別委員会 | 26日 | 長崎県町村議会議長会
議長会議 |
| 14日 | 議会だより編集委員会 | [3月] | |
| 18日 | 議会だより編集委員会 | 2日 | 議会運営委員会 |
| 22日 | 議会だより編集委員会 | 3日 | 議会だより編集委員会 |
| 26日 | 長崎県町村議会議長会
議長会議 | 3日 | 新庁舎建設に関する調査
特別委員会 |
| 27日 | 先進地視察研修(佐賀県神埼市) | 8日 | 産業建設文教委員会 |
| 28日 | 総務厚生委員会 | 9日 | 3月定例会(1日目) |
| 29日 | 産業建設文教委員会 | 10日 | 3月定例会(2日目) |
| [2月] | | 11日 | 3月定例会(3日目) |
| 1日 | 議会運営委員会 | 12日 | 3月定例会(4日目) |
| 3日 | 第1回臨時会 | 15日 | 予算勉強会(1日目) |
| 4日 | 新庁舎建設に関する調査
特別委員会
設計業者との意見交換会 | 16日 | 予算勉強会(2日目) |
| 8日 | 産業建設文教委員会 | 19日 | 3月定例会(5日目) |
| 9日 | 総務厚生委員会 | 22日 | 3月定例会(6日目) |
| 10日 | 議会運営委員会
第2回臨時会
全員協議会 | 28日 | 町制施行80周年記念式典 |

佐々町議会だよりはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

議会だより編集委員会からのお願い



「佐々町議会」の腕章を着用した議会だより編集委員が、取材の折に写真撮影を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

町民の声を募集中!

TEL62-2101
FAX63-5398

編集後記



新しい生活様式になって1年が過ぎた今、河津桜そしてシロウオ漁と季節を物語る我が町。桜舞い散り、季節は穏やかな春の訪れを待つだけの日々なのに、コロナ禍の収束の兆しは一向に見えませんが、新型コロナウイルスの感染が減少傾向にあるかと思いきや、あらたな変異ウイルス感染が広がりを見せています。未だ、先の見えないコロナ禍の

中、光が見えたのは、3月に迎えた町制施行80周年記念式典。式典は限られた出席者のみでしたが、厳格な式典に身も引き締まる思いでした。この歴史ある記念式典に出席できたのは、ひとえに町民の皆様のご鞭撻の賜と心より感謝いたします。今後、ご指導を受けながら町政に携わる議員として努力邁進していく所存であります。

長谷川 忠

ごあいさつ

木々の緑が深まる季節となりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、全国的に第4波が到来しているといわれています。県内でも再拡大のうごきが強まっております。対応が急がれるところですが、さて、6月には町長と町議会議員の改選時期となり、「議会だより」も現在のメンバーでの最後の発行となります。議会の活動を、できるだ

けわかり易く、読み易くお伝えすることに心がけてきましたが、いかがだったでしょうか。皆さまにはこの4年間「議会だより編集委員会」の活動にご協力をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

佐々町議会議長 川副 善敬
議会だより編集委員会

委員長 永田 勝美
副委員長 浜野 亘
委員 平田 康範
永安 文男
長谷川 忠